

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成30年度第1回事業普及委員会議事録

- I. 日時 平成30年4月14日(土) 13:30~15:30
場所 公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局、
II. 出席者 今泉委員長、波多野委員、尾崎委員、西浦委員、木村委員
戸高顧問
双葉坂元社長(事務局 井端事務局長、中村職員)

III. 検討内容

今回は、主に2018年度機関誌 No.1(6月号)の原稿確認について検討した。

1. 2018年度機関誌 No.1(6月号)の原稿内容及び編集確認について

機関誌 No.1(6月号)全体の進捗状況の報告を行い、それぞれの原稿について以下の様に検討・確認し、執筆者に原稿内容の加筆・修正を依頼することにした。

- ① 執筆者の役職名などの表記について、事務局で問い合わせ確認することにした。
- ② 特集の「データサイエンス教育」原稿については、それぞれ次のような点について加筆・修正を依頼することにした。また、未回収の原稿の取り扱いについては、次回委員会(5月21日)において検討・確認することにした。
 - ※ 「横浜市立大学データサイエンス学部2018年4月始動」は、新学部のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーなどの概念図を組み込むよう打診するとともに、横浜市との関連、社会連携と国際交流の記述について短縮化を依頼することにした。
 - ※ 「上智大学が考える、未来を生きる学生のためのデータサイエンス」は、修正なく原稿内容を確定した。
 - ※ 「立教大学におけるデータサイエンス副専攻」は、「4. データサイエンスプログラムの狙い」を新たに加筆依頼することにした。そのために、英語で展開する科目の紹介箇所は削除等の工夫を依頼することにした。
 - ※ 「同志社大学文化情報学部におけるデータサイエンス教育」は、「1.はじめに」の最後尾の部分「・・・紙面の都合により・・・」を削除するとともに、「2.体系的・網羅的なカリキュラム」の特徴について、後段に記載の内容「本学部のカリキュラムの特徴は・・・」を前段に組み替えるなどの工夫を依頼することにした。また、「4.奨励学生制度」を削除し、新たに「4.今後の展開」を加筆依頼することにした。
- ③ 「教育・学修支援の取り組み(畿央大学)」は、表1の表中の罫線は除くことにした。
- ④ 「政府関係機関事業紹介」は、判読しやすくなるよう図2を大きくするため、図1の横のスペースに文章を入れなどの編集を行うことにした。
- ⑤ 「私情協ニュース」は、「平成30年度事業計画書」の編集は行わず、原本を掲載する。「産学連携人材ニーズ交流会(P55)のレイアウトは、平成29年度産学連携事業実施報告の「大学教員の企業現場研修」に続くものであることを示すため、上部に事業活動報告 No.2(続き)と表記するほか、一部の文章と写真を更新する。
- ⑥ 現時点の未入稿原稿の扱いは、原稿が到着次第、委員に送付し、次回委員会までに事前確認を行うこととした。

2. その他(次回の日程について)

今回は、5月21日(月)18時より私情協事務局にて開催することとした。